

2023年3月13日

冷凍食品の持続的な寄贈スキームを構築 ～フードバンクかながわへの定期的な食品寄贈を開始～

マルハニチロ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：池見 賢）は、フードバンク活動を行う、公益社団法人フードバンクかながわ（本部：神奈川県横浜市、代表理事：當具 伸一、吉坂 義正）に対し、冷凍食品の寄贈を行う持続的な取り組みを開始しました。本取り組みでは、食品輸入に際し、一定の割合で発生する検査抜き取り品や、輸送時に箱がつぶれてしまった商品など、まだ食べられるにもかかわらず販売できなくなった商品を定期的に寄贈いたします。

寄贈を通じて食の支援を必要とする方々へ食品を届けるとともに、当社商品を有効活用することで、フードロスの削減につなげる取り組みは、これまでも缶詰やフィッシュソーセージ、デザート品のほか、冷凍食品も行ってまいりました。しかし冷凍食品は、寄贈先が冷凍庫や保冷車を保有するフードバンクやこども食堂に限られることから、保管・配送に制約があり、不定期の取り組みとなっていました。

この度、農林中央金庫（本社：東京都千代田区、代表理事理事長：奥 和登）の仲介により、冷凍庫や保冷車を保有するフードバンクかながわにおいて、当社商品を保管する神奈川県川崎市の冷凍倉庫での定期的な引き取りが可能となりました。これにより、同地区で冷凍倉庫を運営する株式会社マルハニチロ物流（本社：東京都中央区、代表取締役社長：武田 信一郎）、ならびに株式会社ヒューテックノオリン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：安喰 徹）、隅田冷凍工業株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：田淵 馨）とともに、毎月、冷凍食品を寄贈するスキームを構築いたしました。

マルハニチログループは2022年度より開始した、新中期経営計画「海といのちの未来をつくる MNV2024」の中で、重要課題の一つに「循環型社会実現への貢献」を定め、「2030年までにフードロス（製品廃棄）を2020年度比で50%削減する（国内グループ）」という目標を掲げています。循環型社会の実現に向け、フードバンク活動を行う団体などへの食の支援活動を今後も推進してまいります。

以上

【本件に関する問い合わせ先】マルハニチロ(株) 経営企画部 サステナビリティ推進グループ
kankyou@maruha-nichiro.co.jp